

田中俊郎教授略歴

- 一九四六年 三月八日、田中數男・民子の参男として鳥取県米子市に生まれる
- 一九五八年 三月 京都市立日彰小学校、兵庫県西宮市立甲東小学校を経て、東京都大田区立赤松小学校卒業
- 一九六二年 三月 東京都大田区立大森第六中学校、私立ファーズタウン・スクール（英国サセックス州リトルハンプトン）を経て、東京都世田谷区立北沢中学校卒業
- 一九六五年 三月 東京都立新宿高等学校卒業
- 一九六九年 三月 慶應義塾大学法学部政治学科卒業
- 一九七一年 三月 慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻修士課程修了
- 一九七一年 四月 慶應義塾大学法学部助手
- 一九七三年 二月 米国タフツ大学フレッチャー・スクール・オブ・ロー・アンド・ディプロマシー訪問研究員
（アジア財団奨学生、一九七五年三月まで）
- 一九七五年 三月 慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻博士課程単位満了退学
- 一九七五年 四月 慶應義塾大学法学部専任講師
- 一九七九年 四月 慶應義塾大学法学部助教
- 一九七九年 九月 英国サセックス大学研究生（ブリティッシュ・カウンシル・スカラー、一九八〇年八月まで）
- 一九八一年 一〇月 慶應義塾大学通信教育学生会長（一九八三年九月まで）

- 一九八三年 一〇月 慶應義塾大学学生部副部長 (三田支部、一九八五年三月まで)
- 一九八五年 四月 慶應義塾大学法学部教授 (現在にいたる)
- 一九八七年 四月 在ベルギー欧州共同体日本政府代表部専門調査員 (外務省に出向、一九八七年二月まで)
- 一九八九年 一〇月 杏林大学社会科学部非常勤講師 (一九八九年三月まで)
- 一九九〇年 一〇月 慶應義塾大学国際センター副所長 (一九九三年九月まで)
- 一九九二年 一〇月 慶應義塾大学国際センター副所長 (一九九三年三月まで)
- 一九九三年 九月 慶應義塾女子高等学校非常勤講師 (一九九三年七月まで)
- 一九九三年 四月 杏林大学大学院国際協力研究科非常勤講師 (一九九五年三月まで)
- 一九九三年 九月 イタリヤ、欧州大学院 (EUI) 客員教授 (国際交流基金フェロー、一九九四年八月まで)
- 一九九五年 一〇月 慶應義塾大学国際センター所長、日本語・日本文化教育センター所長 (二〇〇一年五月まで)
- 二〇〇一年 四月 慶應義塾大学英国ナウトンコート先端研究教育連携スクエア長 (二〇〇五年五月まで)
- 二〇〇一年 五月 学校法人慶應義塾常任理事 (三田会・国際交流・広報・育林事業担当、二〇〇五年五月まで)
- 二〇〇三年 二月 欧州委員会 *Jean Monnet Chair Aid Personam* 教授 (現在にいたる)
- 二〇〇五年 九月 一橋大学大学院法学研究科・国際公共政策教育非常勤講師 (現在にいたる)
- 二〇〇六年 一〇月 「魅力ある大学院教育」イニシアティブ 「グローバル化時代の政治学総合研究拠点形成 (KIPS)」拠点リーダー (二〇〇八年三月まで)
- 二〇〇七年 九月 慶應義塾大学ジャン・モネCOEEU研究センター長 (二〇〇八年一月まで)
- 二〇〇八年 四月 慶應義塾大学法学研究所所長 (現在にいたる)
- 二〇〇八年 二月 EUI in TOKYO (EUIスタディーズ・インスティテュート) 所長 (現在にいたる)
- 二〇一〇年 六月 「グローバルCOE」「市民社会におけるガバナンス教育研究拠点形成 (CGCS)」拠点リーダー (現在にいたる)

学会活動・社会活動

- 一九八〇年 一月 日本EC／EU学会設立時から理事（現在にいたる）
- 日本EU学会理事（二〇〇二年一月―二〇〇四年一月まで）
- 一九九二年 一〇月 日本国際政治学会理事（二〇〇四年一〇月まで）
- 日本国際政治学会監事（二〇〇四年一月―二〇〇八年一〇月まで）
- 一九九四年 一〇月 日本国際政治学会監事（二〇〇四年一月―二〇〇八年一〇月まで）
- ECSA―WORLD（世界EC学会）副会長（一九九六年まで）
- 二〇〇二年 *Asia Europe Journal* Advisory Member（現在にいたる）
- 二〇〇三年 一〇月 日本政治学会理事（二〇〇五年一〇月まで）
- 二〇〇四年 九月 EUSA―AP（アジア太平洋EU学会）会長（二〇〇六年二月まで）
- 二〇〇四年 九月 *Asia-Pacific Journal of EU Studies* 発行人（二〇〇六年二月まで）
- 同誌 Advisory Board Member（二〇〇七年一月―現在にいたる）
- 二〇〇六年 EUIs（EU Studies in Asia）Advisory Board Member（現在にいたる）
- 二〇〇八年 四月 静岡県立大学広域ヨーロッパ研究センター客員研究員（現在にいたる）
- 二〇〇九年 一〇月 国際法学会評議員（現在にいたる）
- 二〇〇九年 Yonsei-SERI（Samsung Economic Research Institute）EUIセンター Advisory Board Member（現在にいたる）

- 一九八三年 四月 慶應義塾体育会所属団体ホワイトベアー・アイスホッケー部部長（一九九二年三月まで）
- 一九八四年 四月 財団法人大内山塾評議員（一九九八年三月まで）
- 一九九二年 四月 慶應義塾体育会ソッカー部部长（現在にいたる）
- 一九九六年 三月 社団法人関東学生サッカー連盟評議員（現在にいたる）
- 一九九八年 一月 財団法人日本国際教育協会私費外国人留学生統一試験委員会委員（一九九八年三月まで）
- 一九九八年 六月 社団法人日本私立大学連合会国際交流委員会委員（二〇〇五年五月まで）
- 二〇〇〇年 四月 財団法人岩國財団評議員（二〇一〇年三月まで）
- 二〇〇一年 八月 独立国家行政法人日本国際教育協会理事（二〇〇五年八月まで）
- 二〇〇一年 一〇月 財団法人福澤記念育林会理事長（二〇〇六年六月まで）
- 二〇〇二年 七月 財団法人福澤記念育林会名誉顧問（二〇〇六年六月、現在にいたる）
- 二〇〇三年 三月 独立国家行政法人大学評価・学位授与機構大学評価委員会委員（二〇〇四年七月まで）
- 二〇〇五年 七月 日EU産業協力センター管理委員会委員（現在にいたる）
- 二〇〇六年 一二月 財団法人吉田育英会評議員（二〇〇八年二月まで）
- 二〇〇八年 七月 財団法人吉田育英会理事（二〇〇八年二月、現在にいたる）
- 二〇〇八年 七月 財団法人大学基準協会大学評価委員会委員（二〇〇八年三月まで）
- 二〇〇九年 四月 *Japan Echo* 編集委員会委員（二〇一〇年三月まで）
- 二〇〇九年 六月 慶應義塾大学福利厚生団体国際関係会（IIR）顧問（現在にいたる）
- 二〇一〇年 六月 財団法人・公益財団法人国連大学協会理事（現在にいたる）
- 二〇一〇年 六月 慶應あるびおんくらぶ顧問（現在にいたる）

田中俊郎教授主要業績

〔著 書〕

- 『EC統合と日本―ポスト一九九二年に向けて』（編著） 日本貿易振興会 一九九一年
- 『EC統合・欧州連合入門』（藤原豊司氏と共著） 東洋経済新報社 一九九二年
- 『欧州連合（EU）五億人の市場―EUは北へ東へ南へ拡大する』（藤原豊司氏と共著） 東洋経済新報社 一九九五年
- History of Europe 1945-1990*（小屋逸樹氏と共編） 第三書房 一九九六年
- 『なぜヨーロッパと手を結ぶのか―日・欧』新時代の選択』（中西輝政・中井康朗・金子讓氏と共著） 三田出版会 一九九六年
- 『成熟時代の日米論争』（葉師寺泰蔵・添谷芳秀・吉野直行・田村次朗氏と共編著） 慶應義塾大学出版会 一九九六年
- Globalism and Regionalism* (Co-editor with Prof. Takashi Inoguchi)
- The United Nations University
- 神奈川学術研究交流財団 一九九七年
- Globalism and Regionalism*（猪口孝氏と共編） 岩波書店 一九九八年
- 『EUの政治』 有斐閣 二〇〇〇年
- 『EU入門―誕生から、政治・法律・経済まで』（島野卓爾・岡村堯氏と共編著） 慶應義塾大学出版会 二〇〇五年
- 『EUと市民』（庄司克宏氏と共編著）

Enlarging European Union and Asia (Co-editor with Mr. Zainal Mantaha)

Asia-Europe Foundation and Keio University 二〇〇五年

バンジャマン・アンジェル&ジャック・ラフィット著『ヨーロッパ統合―歴史的大実験の展望』(監修)

創元社 二〇〇五年

『EUの軌跡とベクトル―トランスナショナルな政治社会秩序形成への模索』(庄司克宏氏と共編著)

慶應義塾大学出版会 二〇〇六年

『EUの国際政治―域内政治秩序と対外関係の動態』(小久保康之・鶴岡路人氏と共編著)

慶應義塾大学出版会 二〇〇七年

『EUのガヴァナンスと政策形成』(庄司克宏・浅見政江氏と共編)

慶應義塾大学出版会 二〇〇九年

〔翻 訳〕

『外交の体系分析』(J・W・バートン著 内山正熊研究会訳)

鹿島研究所出版会 一九七〇年

『アジア・太平洋地域における繁栄の新時代へ向けて』(朴忠勲著)

『三田評論』第八四五号 一九八四年

再録『アジアと日本―近代化への道とアイデンティティを求めて』(慶應国際シンポジウム編集委員会編、共訳)

勁草書房 一九八五年

『文化の国際関係―国際交流の歴史・組織・活動』(J・M・ミッチェル著)

三嶺書房 一九九〇年

『冷戦後のヨーロッパ』(ウィリアム・ウォーレス著)

『世界』第五六三号 一九九二年

『EC統一を英・独はどう見るか』(エミール・キルヒナー著)

『世界』第五六三号 一九九二年

『EC・日本関係―パートナーシップを求めて』(ブライアン・ブリッジス著、菅陽子氏と共訳)

『JIIA Paper No. 2』日本国際問題研究所 一九九二年

〔論文・論説〕

- 『統一ヨーロッパへの道―シャルルマーニュからEC統合へ』（デレック・ヒーター著、監訳） 岩波書店 一九九四年
- 『市民権とは何か』（デレック・ヒーター著、関根政美氏と共訳） 岩波書店 二〇〇二年
- 『EUの日本との戦略的パートナーシップ』（ハビエル・ソラーナ著、下斗米美哉氏との共訳） 『法学研究』 第七九卷第五号 二〇〇六年
- 『イギリスの国内政治』 『国際時評』 第一二二号 一九七五年
- 『シューマン・プランをめぐる英国の政治過程―英仏交渉を中心にして』（一）、（二） 『法学研究』 第四八卷第七号、第八号 一九七五年
- “British Attitudes towards the Schuman Plan: May-June 1950” *Keio Journal of Politics*, No. 2 一九七六年
- 『欧州共同体加盟問題と英国の世論』（一）、（二） 『法学研究』 第五〇卷第一〇号、第一一号 一九七七年
- 『ECの動向（一九七五年）』 『国際年報』 第一七卷 一九七九年
- 『欧州共同体加盟をめぐる英国の世論』 『第二回日本EC研究者大会の記録』（慶應義塾大学EC研究会） 一九七九年
- 『欧州統合の理念とその歴史的發展―欧州共同体の歩み』、『ECの拡大』 細谷千博・南義清編 『欧州共同体（EC）の研究―政治力学の分析』（新有堂） 一九八〇年
- 『EC加盟国の政治協力―欧州とアラブとの対話』を事例として 『法学研究』 第五四卷第三号（遠峰四郎教授退職記念論文集） 一九八一年
- 『英国の欧州共同体加盟にともなうホワイトホールの対応』 石川忠雄教授還暦記念論文集編集委員会編 『現代中国と世界―その政治的展開』（慶應通信） 一九八二年

- 「ECの動向(一九七八年)」 『国際年報』第二〇巻 一九八二年
- 「一九八〇年五月三〇日の妥協」—ECのパッケージ・ディールの一事例」 『法学研究』第五五巻第六号 一九八二年
- 「EC加盟国の政治協力—その一〇年の歩み」 『日本EC学会年報』第二号 一九八二年
- 「ウェストミンスターと欧州共同体」 『法学研究』第五六巻第三号(内山正熊教授退職記念論文集) 一九八三年
- 「国内利益集団と欧州共同体—英国の場合」 『慶應義塾創立一二五年記念論文集 法学部政治学関係』(慶應通信) 一九八三年
- “Euro-Japanese Political Cooperation: In Search for New Roles in International Politics.” *Keio Journal of Politics*, No. 5 一九八四年
- 再録 “Euro-Japanese Political Cooperation: In Search for New Roles in International Politics” in Jun-han Tsao and Cheng-wen Tsai (eds.), *Northeast Asian and European Relations: New Dimensions and Strategies*, (Taipei: The Asia and World Institute) 一九八四年
- 「ECの危機は一時的現象」 『世界週報』四月一〇日 一九八四年
- 「国内利益集団の『欧州化』—ECの共通漁業政策と英国の漁業団体を事例として」 『国際政治』第七七号(国際統合の研究) 一九八四年
- 「ECの動向(一九七九—八〇年)」 『国際年報』第二二巻 一九八五年
- 「欧州連合」実現へ踏み出す—ECの機構改革をめぐって」 『世界週報』第六六巻第三二号 一九八五年
- 「ECの機構改革とその課題」 『国際問題』第三〇八号 一九八五年
- “Japan-EC Relations: Actual Problems and How to Tackle Them.” *Merkourios* (Utrecht), Maart 一九八六年
- 「ヨーロッパと冷戦」 小此木政夫・赤木完爾編『冷戦期の国際政治(神谷不二教授還暦記念論文集)』(慶應通信) 一九八七年

- 「ついに発効した単一欧州議定書―統合達成への新しい法的枠組み」『月刊ECジャーナル』第一一八号 一九八七年
- 「ECの動向（一九八一―八二年）」『国際年報』第二三卷 一九八八年
- 「ECの政治と対外関係」『三田評論』第八九〇号 一九八八年
- “The EC Integration-Process : A Japanese View” 『法学研究』第六一卷第五号（法学部政治学科開設九十周年記念論文集） 一九八八年
- 「単一欧州議定書と欧州統合」『明治大学法学部資料センター、研究・講演資料集』第一五号 一九八八年
- 「単一欧州議定書と域内市場」『国際問題』第三四〇号 一九八八年
- 「EC域内市場統合とその国際的影響」『外交時報』第一二五二号 一九八八年
- 「ECの政治潮流」『租税研究』第四六九号 一九八八年
- 「EC市場統合の経緯と現状」
- A T I S（技術情報サービス懇談会）EC問題リポート刊行会編『一九九二年EC市場統合の日本製造業への影響』（EC問題リポート刊行会） 一九八九年
- “The European Community and Japan: Countdown to 1992”
- The Japan Review of International Affairs*, Vol. 3, No. 2 一九九〇年
- 「EC『一九九二年』の域外へのインパクト」『法学研究』第六三三卷第二号（中澤精次郎先生追悼号） 一九九〇年
- 「東欧革命とEC統合―日本は何をなすべきか」『世界』第五三九号 一九九〇年
- 「欧州連合と単一欧州議定書」『国際政治』第九四号（政治統合に向かうEC） 一九九〇年
- 「ドイツ統一とEC統合」『三色旗』第五〇七号 一九九〇年
- 「ECはなぜ市場統合を必要としているのか」『ジュリスト』第九六一号 一九九〇年
- 「欧州の動き」
- 日本経済調査協議会編『国際的枠組みの再構築―世界の新潮流と日本の役割』（日本経済調査協議会）

- 「ドイツ統一と EC 統合」 一九九〇年
- 行政管理研究センター調査研究部編 『EC 対外関係の新展開』 (行政管理研究センター) 一九九〇年
- 「英・仏とアフリカ (平林正司氏と共著)」 小田英郎編 『アフリカの政治と国際関係 (アフリカの二二世紀 3)』 (勁草書房) 一九九一年
- 「EC の対ロシア・中欧・東欧政策」 『日本 EC 学会年報』 第一号 一九九一年
- 「二一世紀には単一通貨実現も」、「EC 新時代の理想と行方」 『二一世紀への日本・全予兆』 (学習研究社) 一九九一年
- 「完成」、「深化」、「拡大」に向かう EC」 『三色旗』 第五二六号 一九九二年
- 「『EC 統合』は世界をどう変えるか—アメリカ、東欧、日本の対応が注目されるこれだけの理由」 『潮』 第三九四号 一九九二年
- 「EC 統合と国家主権」 行政管理研究センター調査研究部編 『EC 統合と東欧政策』 (行政管理研究センター) 一九九二年
- “EC 1992 and Japan: Opportunity for Cooperation” 『法学研究』 第六五巻第二号 (神谷不二教授退職記念論文集) 一九九二年
- 「市場統合から政治同盟へ—EC のターゲットは何か」 『タカーポ』 第二四七号 一九九二年
- 「国際機構について考察する諸前提」 日本経済調査協議会編 『国際機構の現状と問題点』 (日本経済調査協議会) 一九九二年
- 「欧州 (EC 統合)」 通商産業研究所 『九〇年代の世界シナリオに関する調査研究』 (通商産業研究所) 一九九二年
- 「問い直される『ポードレス』の意味」 『経済往来』 第四四巻第八号 一九九二年
- 「噴出した『見えぬ』ものへの不安」 『経済往来』 第四四巻第一号 一九九二年

- 「新しい世界システムにおけるヨーロッパの役割」、「EC統合の現状と課題」
 大蔵省財政金融研究所・社団法人研究情報基金内ヨーロッパ研究会編『二一世紀へのビジョン、新生ヨーロッパ
 パ展望、新秩序におけるヨーロッパの役割』（大蔵省財政金融研究所・社団法人研究情報基金内ヨーロッパ研
 究会） 一九九二年
- 「EC統合と日本」 『交詢雑誌』 第三四七号 一九九二年
- 「EC統合を見る眼」 電通総研編『EC統合と新ヨーロッパ』（岩波書店） 一九九三年
- 「欧州統合と日仏関係」 日本国際問題研究所編『EC統合の展望』（日本国際問題研究所） 一九九三年
- 「欧州連合に向かって―EC委員会、欧州議会、加盟国間の政治」 『日本政治学会年報』 一九九三年
- 「新欧州と日本」 『データバル九三―九四』（小学館） 一九九三年
- 「EC統合の現状とその行方―マーストリヒト条約を中心として」 『日本海運倶楽部講演集』 第二七七号 一九九三年
- 「ECの拡大―どこまでがヨーロッパか」 『三色旗』 第五四三号 一九九三年
- 「第四次拡大に向かう欧州連合」 『国際問題』 第四〇九号 一九九四年
- “EPC in World Society: The Picture from Japan” 『法学研究』 第六八巻第二号（太田俊太郎教授退職記念論文集） 一九九四年
- 再録 “EPC in World Society: The Picture from Japan” 『Readings, Japanese Studies Unit 7 (Hong Kong: The Open University of Hong Kong)』 一九九五年
- 「対外関係」 大西健夫・岸上慎太郎編『EU―政策と理念』早稲田大学出版部 一九九五年
- 「欧州連合（EU）の対アジア政策」 『法学研究』 第六八巻第一号（松本三郎教授退職記念論文集） 一九九五年
- 「欧州連合（EU）の対アジア政策―欧州委員会の文書を中心にして」 『IIPS Policy Paper』 一四五丁（世界平和研究所） 一九九五年
- 「ヨーロッパ統合」

- 歴史学研究会編『講座世界史』第11巻(岐路に立つ)現代世界―混沌を恐れるな(東京大学出版会) 一九九六年
- “Japan and the European Union: Past, Present and Future”
- 日本国際問題研究所編『欧州の拡大に係わる課題と日欧関係』(日本国際問題研究所) 一九九五年
- 「EU統合の現状と課題」 現代政策研究会「日本の課題と選択」研究委員会第五四回、一九九六年
- “The Sanctions against China after the Tiananmen Square Incident: Politics intervene in Economics?”
Keio Journal of Politics, No. 9 一九九七年
- 再録 “The Sanctions against China after the Tiananmen Square Incident: Politics intervene in Economics?”
 directed by Susan Strange, *Globalization and Capitalist Diversity: Experiences on the Asian Mainland*
 (Florence: The Robert Schuman Centre, European University Institute) 一九九七年
- 「ASEM(アジア欧州会合)―新しい対話の誕生」 『日本EU学会年報』第一七号 一九九七年
- 「アジア・欧州関係の新展開―ASEMの誕生と発展」 添谷芳秀・赤木完爾編『冷戦後の国際政治―実践・政策・理論(慶應義塾大学法学部政治学科開設百年記念出版)』(慶應義塾大学出版会) 一九九八年
- 「EUの対南部アフリカ政策―ロメ協定を中心にして」 『法学研究』第七一卷第一号(小田英郎教授退職記念論文集) 一九九八年
- 「EUの『東』への拡大」 『海外事情』第四六巻第一号 一九九八年
- 「国際政治における地域主義―ヨーロッパとアジアを結ぶ視点」 添谷芳秀編『二十一世紀国際政治の展望(慶應義塾大学法学部政治学科開設百年記念講座)』(慶應義塾大学出版会) 一九九九年
- “Asia-Europe Relations: The Birth and Development of ASEM” *Keio Journal of Politics*, No. 10 一九九九年
- 「ユーロの登場とEU統合の現実」 現代政策研究会「日本の課題と選択」研究委員会第七六回 一九九九年

- 「ユーロの発足と今後のEU統合の展望―単一通貨圏成立の政治経済分析」 『国際問題』 第四七号 一九九九年
- 「『深化』と『拡大』を図る欧州連合」 『新防衛論集』 第二七巻第一号 一九九九年
- 「EU統合の現状と展望―拡大と深化の視点から」 尾崎行雄記念財団「討論集会」 第一四五号 一九九九年
- 「ユーロ発足とEUの政治システム構築―EU統合の政治学による考察」 『世界経済評論』 第四三巻第一二号 一九九九年
- 「一九九〇年代における日本・EU関係の発展―期待と懸念」 『法学研究』 第七三巻第一号（池井優教授退職記念論文集） 二〇〇〇年
- 「EU統合の現状と展望―拡大と深化の視点から」 『経済研究所年報』（成城大学） 第一三三号 二〇〇〇年
- 「日本と英国」 『国際交流』 第八八号 二〇〇〇年
- 「EU拡大の見通し」 『海外事情』 第四八巻第一号 二〇〇〇年
- 「EUとイギリス」 細谷千博・長尾悟編『ヨーロッパ統合』（有信堂） 二〇〇〇年
- 「EUの地域主義外交―ASEM（アジア欧州会合）プロセスを中心にして」 『国際問題』 第四九四号 二〇〇一年
- “Germany and Regional Integration: Approach, Achievements and Deficiencies.” *Keio Journal of Politics*, No. 11 二〇〇一年
- 「展望二〇〇二年―EUの拡大・深化の画期的な年に」 『世界週報』 第八三巻三号 二〇〇二年
- 「九・一一事件と欧州政治統合」 『海外事情』 第五〇巻一号 二〇〇二年
- “Italy in the European Union and Italy for Japan” 『法学研究』 第七五巻第一号（山田辰雄教授退職記念論文集） 二〇〇二年
- 「統一ドイツと欧州統合」 『国際問題』 第五〇九号 二〇〇二年
- 「欧州憲法条約草案採択への道」 『海外事情』 第五一卷一〇号 二〇〇三年
- “Peace and Reconciliation between France and Germany after the Second World War”

- 「EU 統合の現状と展望」 二〇〇四年
 村本孜編『グローバルゼーションと地域経済統合』（蒼天社）二〇〇四年
- 「EU 統合の現状と展望」 『金沢星陵大学論集』第二八巻二号 二〇〇四年
- 「EU 統合と民主主義——市民意識を中心に」 『海外事情』第五三巻第二号 二〇〇五年
- “From the Convention through the IGC to the European Constitutional Treaty”
 『日本 EU 学会年報』第二五号 二〇〇五年
- 「拡大 EU は危機か？」 『世界経済時報』第一四八号 二〇〇五年
- 「EU 統合と市民」 『NOMOS』（関西大学法学研究所）第一七号 二〇〇五年
- 「欧州憲法条約不成立の背景と展望——『ユーロバロメーター』にみる市民の声」 『海外事情』第五四巻第二号 二〇〇六年
- 「欧州とは何か」 『外交フォーラム』第二一四号 二〇〇六年
- 「欧州憲法条約の現状と展望」 『海外事情』第五五巻六号 二〇〇七年
- 「EU 統合の軌跡とシナトル」 『日本 EU 学会年報』第二七号 二〇〇七年
- “Cast in America’s Shadow: Perceptions of the EU in Japan” with Eijiro Fukui and Jessica Bain
 in Martin Holland, Peter Ryan, Alojzy Z. Nowak and Natalia Chaban (eds.), *The EU Through the Eyes of Asia: Media, Public Opinion and Elite Perceptions in China, Japan, Korea, Singapore and Thailand* (Singapore: Asia-Europe Foundation and Warsaw: University of Warsaw) 二〇〇七年
- 「ローマ条約からリスボン条約まで」 『海外事情』第五六巻第四号 二〇〇八年
- 「EU・国家・市民」 『三色旗』第七二五号 二〇〇八年
- “Asian (ASEAN plus Three) Perceptions on European Integration”
 in Philomena Murray (ed.), *The Europe and Asia: Regions in Flux* (London: Palgrave Macmillan)

- “The Landscape of European Studies Teaching in Asia and with a Particular Focus on Japan” with Silviu Jora
in Martin Holland, Silviu Jora and Peter Ryan (eds.), *The Future of European Studies in Asia* (Singapore:
Asia-Europe Foundation, EU Institute in Japan, Kansai and National Centre for Research on Europe,
University of Canterbury) 二〇〇八年
- “The Four Dilemmas of the European Union”
in Dai Bingham and Jian Junbo (eds.), *The Enlarged European Union: Prospects and Implications*
(Baden-Baden: Nomos Verlagsgesellschaft) 二〇〇八年
- 「リスボン条約とアイルランド―世論調査にみる市民の声」
慶應義塾大学法学部編『慶應義塾創立二五〇年記念法学部論文集 慶應の政治学 国際政治』（慶應義塾大学
出版会） 二〇〇八年
- 「EUの安全保障政策（ESDP）と世論」 『法学研究』第八二巻第一号（森征一教授退職記念論文集） 二〇〇九年
- “Focus on Asia” *Japan Echo*, Vol.36, No.3 二〇〇九年
- 「アイルランドとリスボン条約」 『海外事情』第五七巻第九号 二〇〇九年
- “Elites and Citizens in European Integration”
『法学研究』第八三巻第三号（薬師寺泰蔵教授退職記念論文集） 二〇一〇年
- “Finding Japan’s Way in the World” *Japan Echo*, Vol.37, No.2 二〇一〇年
- “Stagnation and Integration in Europe” *AJISS-Commentary*, No. 101 二〇一〇年

〔座談会・対談〕

「いま西ヨーロッパで何が―近代日本の精神的原点を検証する」(木村尚三郎・加藤タキ氏とともに)

『三井グローバルアイ』第一九号、二〇号 一九八七年

「ドイツ統一とヨーロッパの行方」(藤高明・倉田保雄・松井弘明氏とともに) 『三田評論』第九一四号 一九九〇年

「激動する欧州経済―解体する東欧、統合する西欧」(天谷直弘・西村厚・西村可明氏とともに)

『読売新聞』六月一八日 一九九〇年

「C S C E を終えて」(鴨武彦・佐瀬昌盛氏とともに) 『読売新聞』一月二四日 一九九〇年

「不戦の欧州―パリ憲章をめぐる」(松井弘明・松浦毅・宝利尚一氏とともに)

『三田評論』第九二三号 一九九一年

「ヨーロッパ―国境なき地図の提示」(岩島久夫氏とともに)

『On the Line』第四卷第九号 一九九二年

「一九九二年 E C 市場統合と日欧関係」(小島明氏とともに)

『N I R A 政策研究』第五卷第五号 一九九二年

「一九九三年 世界経済はどうなる」(井上宗迪・石井一生氏とともに)

『ジェットロセンサー』第四九七号 一九九三年

「E U の試みから日本が学ぶこと」(佐々江賢一郎・実哲也氏とともに) 『外交フォーラム』第一六八号 二〇〇二年

「ヨーロッパの過去・現在・未来」(中村雅治・J I C ・オロリュシュ・小林章夫・川崎健氏とともに)

『ソフィア』第五二巻第二号 二〇〇三年

「拡大する E U はどこに向かうのか」(林秀毅・嘉治佐保子・庄司克宏氏とともに)

『三田評論』第一〇七九号 二〇〇四年

「東アジア共同体形成に向けて E U から学ぶこと―ジャン・モネの経験をアジアに生かすには」(近藤健彦氏とともに)

『VOICE』第七四号 二〇〇六年

〔書評・紹介〕

Robert J. Lieber, *British Politics and European Unity: Parties, Elites and Pressure Groups* (University of California Press, 1970)

S・D・カーテッツ (鹿島平和研究所訳) 『外交を通ずる平和の探求』 (鹿島研究所出版会、一九七二年) 『法学研究』 第四五巻第一一〇号 一九七二年

Roger Morgan, *West European Politics Since 1945: The Shaping of the European Community* (Capricorn Books, 1973)

黒神聰 『一九五三・三・一〇 欧州共同体構想―EC政治統合の一つの指標』 (成文堂、一九八一年) 『法学研究』 第四八巻第八号 一九八〇年

『日本EU学会年報』 第四号 (EUの国際関係) 『月間ECジャーナル』 第九七号 一九八四年

『新著余滴―欧州連合―五億人の市場』 『三田評論』 第九七二号 一九九五年

『新著紹介―EUの政治』 『三色旗』 第六〇四号 一九九八年

『新著紹介―EU入門―誕生から、政治・法律・経済まで』 『三色旗』 第六三〇号 二〇〇〇年

植田隆子編 『EUとアジア』 (勁草書房、二〇〇二年) 『国際法外交雑誌』 第一〇三巻第一号 二〇〇五年

〔資料〕

『外交学文献目録』 (慶應義塾大学外交学研究グループ―内山正熊・石川一雄・山川征和・林猛雄氏とともに)

『法学研究』 第四六巻第一〇号 一九七三年

『主要文献目録 (国際政治・外交史)』 昭和五一年度、昭和五二年度、昭和五三年度

『国際法外交雑誌』第七六卷第二号、第七七卷第一号、第七八卷第一—二号、一九七七—七九年

「西洋外交史—基本文献（塾生書架）」

『三色旗』第三七七号 一九七九年

「内山正熊教授 著作目録」

『法学研究』第五六卷第三号 一九八三年

〔辞典・事典〕

- 『日本外交史辞典』（外務省外交史料館日本外交史辞典編集委員会編、大蔵省印刷局、一九七九年）、『国際政治経済辞典』（東京書籍、一九九三年、改訂版二〇〇三年）、『世界民族問題辞典』（平凡社、一九九五年）、『世界大百科事典（CD-ROM版）』（平凡社、一九九八年）、『対日関係を知る事典』（平凡社、二〇〇一年、改訂版二〇〇七年）、『国際政治事典』（弘文堂、二〇〇五年）